

令和6年度

事業報告書

(自) 令和6年4月1日

(至) 令和7年3月31日

社会福祉法人

琴浦町社会福祉協議会

令和6年度事業報告書

概 要

人口減少と少子高齢化により、集落や地域での担い手不足や家族構成、地域社会の変容による住民意識の変化、コロナ禍による影響も長引き、支え合いの機能はますます脆弱化しています。

このような状況の中、こども、高齢者、障がい者など全ての人々が地域で安心して暮らし続ける「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりのため、町が主体となり取り組む重層的支援体制整備事業の地域づくり事業、参加支援事業と地域包括ケアシステムの構築に向けた生活支援体制整備事業を受託しながら、より行政など関係機関や町民と連携し、住みよい町づくりのための取り組みをすすめました。

併せて介護保険事業、障がい者自立支援事業は、選ばれる・魅力あるサービスの提供に取り組みました。通所介護事業は新規利用者があったが、利用定員を大きく割り大幅な減収となりました。障がい福祉サービスは営業日の増加などにより利用者数が増加し、収益増となりました。

重点事業

1 地域の困りごとを町民と協働しながら課題解決に向けた地域づくりと意識の高揚と啓発について

【評価と課題】

集落訪問による実態把握のため、36集落の福祉委員、区長、愛の輪協力員、民生児童委員、町の防災担当などと一緒に地域の福祉活動の状況と課題について、聞き取りや意見交換を行いました。集落でのつながりや関係性、協力体制が徐々に戻ってきているように感じますが、コロナ禍で弱くなったつながりが再構築できるサロンなどを開催していただけるよう引き続き集落の支援をしていきます。

新規の支え愛マップ作成は5集落あり、これまで作成した集落は町全体の35%となりました。またステップアップ事業を通して福祉連絡会（支え愛会議）の立上げが5集落あり、今後住民同士の日常からの見守りなどの仕組み作りを町防災担当などと連携し引き続き令和7年度も取り組んでいきます。

令和6年度は新規事業として、町から生活支援体制整備事業を受託し、協議体「ゆるっと琴浦」を設置し、生活支援コーディネーターが生活支援等の情報を提供するなど地域住民同士が交流できる多様な居場所や人と人をつなぎ、関係機関との情報共有に努めました。

2 安心して利用できる福祉サービスの提供について

【評価と課題】

一時的に生活が困窮した希望者には、町民・事業所などからの寄付による食品や生活用品を提供し、生活再建の一助に取り組みました。

コロナ特例貸付事業では、償還が開始となった世帯の免除・猶予申請についての相談や、手続きの支援、生活相談など相談者の生活再建のため、町の生活困窮者自立支援事業と連携を図り支援を行ないました。

日常生活自立支援事業や法人後見援助事業では、利用者に福祉サービスの利用援助や日常生活の支払いなどの支援と被保佐人の権利擁護と意思決定を尊重した援助に取り組みました。

3 法人運営及び介護・障がい福祉サービス事業の健全経営とサービス向上について

【評価と課題】

適正な法人運営にあたり関係法令、通知により定款及び諸規程の遵守と理事会・評議員会の運営、会計処理及び財務管理に取り組みました。

毎月実施する安全衛生委員会においては、福祉サービス等における苦情、事故、ヒヤリハットなどの報告と検証により、利用者の権利擁護と安心して利用できる福祉サービスの向上に取り組みました。

また、法令による職員研修をはじめ、BCP 机上訓練や職員のメンタルヘルス関係研修など職員の健康保持増進と快適な職場環境づくりに努めました。

介護・障がい福祉サービス事業所は、BCP 机上訓練及び虐待防止及び身体拘束に関する研修を全職員が参加し、福祉サービスの質の向上に取り組みました。

事業内容

1 地域の困りごとを町民と協働しながら課題解決に向けた地域づくりと意識の高揚と啓発について

(1) 社協と地域との関係づくりと地域の課題から、必要とされる施策について把握するために集落訪問を実施しました。

実施集落 36 集落（目標 40 集落）（令和5年度 49 集落 （進捗度 90%）

(2) 福祉委員・愛の輪協力員の設置を依頼し、全集落に福祉委員の選任と見守りなどが必要な方に対して、各集落から愛の輪協力員の選任をいただきました。

福祉委員の選任 154 名（各集落 1 名）

愛の輪協力員の選任 154 名（対象者 157 名）

(3) 福祉委員・愛の輪協力員の活動支援のため、研修会を開催しました。

日にち：令和7年3月2日（日） 参加者101名

場 所：琴浦町赤碕地域コミュニティセンター

内 容：説 明 「地域共生社会に向けたこれからの取り組みについて」

講 演 「認知症を正しく知り共に生きていくために」

講 師 琴浦町役場 すこやか健康課

地域包括支援センター 主任保健師 松本満耶

(4) 支え愛ステップアップ事業の取組から福祉連絡会（支え愛会議）が立ち上がり、住民同士の情報共有が行われ、集落での見守りや支え合い活動を支援しました。

5集落（目標 5集落）

(5) ふれあい・いきいきサロンの実施 17集落（新規立ち上げ 2集落）

小地域において住民主導型で、会食やレクリエーション等を通じて交流を図るサロン活動の支援を行いました。

ふれあい・いきいきサロン実施集落（推移）

	R元	R2	R3	R4	R5
実施集落	20	20	14	14	15

・サロン実施集落へレクリエーション指導に職員派遣実施 11回

・ふれあいいきいきサロンの世話人交流会の開催 11月 参加者5名

(6) 地域交流カフェ「あいサロン」の開催

琴の浦高等特別支援学校3年生、個人ボランティア、生活支援コーディネーターと協働し、参加者の交流の場として開催しました。

日にち： 7月 3日（水） 参加者19名

9月25日（水） 参加者12名

11月20日（水） 参加者12名

場 所：安田地区公民館

内 容：新わくわく琴浦体操、レクリエーション、支援学校による野菜販売

(7) 生活支援体制整備事業による地域の体制づくり（町委託事業）（新規）

町からの委託事業として、高齢者のみならず、地域住民同士が交流できる多様な居場所を整備するとともに、人と人、人と居場所をつなぎ合わせる生活支援コーディネーターが第1層協議体とともに生活支援等サービスの提供体制を構築し、地域の体制づくりを進めました。

①第1層生活支援コーディネーターの配置 3名（兼務）

②第1層協議体「ゆるっと琴浦」の運営

・協議体「ゆるっと琴浦」会議開催

6月26日（水）、9月26日（木）、12月25日（水）、3月6日（木）

・ポスター、情報冊子、チラシ発行

③介護予防サークル、ふれあいいきいきサロン、地域交流カフェ等の訪問

・介護予防サークル 78件

・ふれあい・いきいきサロン 11件

・地域交流カフェ 9件

④研修・勉強会への参加・実施

・生活支援コーディネーター養成研修 3回

・ゆるっと琴浦勉強会 12月6日（金） 参加者29名

・「重層的支援体制整備事業」勉強会 第2弾 3月7日（金）

・とっとり地域支え合い推進フォーラム2025 3月11日（火）

（8）参加支援事業の参加（町委託事業）（新規）

町からの委託事業として、ひきこもりなど社会とのつながりができにくい方が就労に向けた社会とのつながりを回復するための通いの場として就労支援継続B型事業所の利用を計画した。

利用実績 なし

（9）町民への福祉啓発活動

①町民へ福祉を啓発のため、琴浦町福祉大会を開催しました。

日にち：令和6年12月15日（日） 参加者70名

場 所：琴浦町赤碕地域コミュニティセンター

内 容：琴浦町社協会長表彰 受賞者9名

講演 「人生の中で不可能なことは意外と少ないものなんです」

講師 “日本一無口な絵描き” 作家 河村 武明 氏

販売 東伯けんこう、琴浦ふれあい事業所

福祉大会参加者（推移）

	R元	R2	R3	R4	R5
参加者数	213	中止	中止	113	86

②福祉体験会を開催し、参加者が体験することで自分ごととして捉える機会としました。

日 時：令和6年7月20日（土）10:00～12:00 参加者 23名

内 容：VRを使って発達障がいがある方の感覚を体験することで、発達障がいへの理解が深まる機会となりました。※株式会社シルバーウッド

(10) わが町支え愛活動推進事業（町・県補助事業）、支え愛マップ更新助成事業により「支え愛マップ」作成を支援し、集落内の防災意識と誰もが安心して暮らせる地域づくりを支援しました。

①実施集落 5 集落（向原、下市、松ヶ丘、宮木、荒神町）（目標 10 集落）

累計実施集落 5 4 集落（進捗度 35%）

支え愛マップ作成（推移）

	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5
実施集落数	2	4	1 1	6	6

②ステップアップ事業 5 集落（出上 1 区、出上 2 区、出上 4 区、出上 5 区、出上 6 区）（目標 6 集落）

③支え愛マップ更新助成事業

実施集落 3 集落（槻下南団地、立石、大杉）（目標：7 集落）

④支え愛マップ作成に向けた集落等への説明会 7 集落

・向原、下市、松ヶ丘、宮木、荒神町、森藤、八橋 5 区

(11) ボランティアセンターの運営

①ボランティアの登録、活動調整、研修、広報活動を行いました。また、ねんりんピックはばたけ鳥取 2 0 2 4 大会のボランティア活動を支援しました。

・ボランティア登録（3 3 団体 延 5 9 1 名 個人 4 7 名）

・ボランティア活動調整 3 6 回

・ボランティアセンターチラシ全戸配布 1 回

②ボランティア養成講座

「ねんりんピック大会ボランティア研修会」 参加者 4 名

日 時：令和 6 年 8 月 3 日（土）9：00～10：15

場 所：琴浦町複合交流施設 中会議室

内 容：ねんりんピックに来県される選手や関係者の皆さまを温かくお迎えするため、ボランティア活動の心がまえや気持ちの良い対応

(12) 夏休みボランティア活動体験事業

町内福祉施設に協力をしていただき、夏休み期間にボランティア活動の体験の場を提供し、福祉への関心と理解を深める機会としました。

実施期間：令和 6 年 7 月 2 9 日（月）～8 月 2 1 日（水）

協力施設：高齢者施設 1 5 事業所、障害者施設 3 事業所、こども園・保育園 7 園

申込者数：7 8 名

活動決定者数：7 1 名

実活動者数：6 4 名（※感染症の拡大により一部施設で体験が中止）

(13) 鳥取県社協と協働での災害ボランティアセンター運営者研修を予定していましたが、関係機関との調整ができなかったため、役場関係機関と、本会職員対象とした災害ボランティアセンター立上げ研修を開催しました。

①災害ボランティアセンター立上げ研修 参加者 96名

日にち：令和7年1月26日（日）

場 所：琴浦町複合交流施設 大会議室

内 容：演題「災害時から災害ボランティアセンターの立上げについて」及びグループワーク

講 師：日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 弘彦氏

(14) 広報活動

①社協だよりの発行

社協活動について、会員である町民の方に福祉の情報紙『社協の福祉だより』を発行し全戸に配布しました。（5月、9月、1月 計3回発行）

②行政放送、ケーブルテレビの活用

会費・募金の協力についてのお願い、社協事業・活動への参加の呼びかけ等を行い、町民に広く周知を図りました。

③ホームページ、Facebook の運用

ホームページを運用し、いつでもどこでも福祉サービスの情報が閲覧でき、各種 申込書等を習得できるよう利便性を図りました。また、Facebook では身近で親しみやすい記事を投稿し、町民の方へ社協の事業や魅力が伝わるよう、情報発信を行いました。

- ・ ホームページ訪問ページ件数（1～3月）：120,626件、平均4,009件／月
（令和5年度：6,760件、平均3,380件／月（2月、3月）
- ・ ホームページアクセス件数（1～3月）：3,195件、平均1,065件／月
（令和5年度：1,763件、平均882件（2月、3月）
- ・ Facebook フォロワー数：137名（令和6年度末）

(15) 福祉教育の推進として、福祉体験学習出前講座を実施

小学校の総合的な学習時間の授業で、福祉体験（車いす、アイマスク、高齢者疑似体験）を実施し、体験による気づき、福祉の心を育てることを支援しました。また、琴の浦高等特別支援学校の福祉学習で問題提起や助言を行ない、地域福祉の理解を深めることを支援しました。学校での出前授業では福祉学習サポーターに協力いただき、福祉についての講話と体験のサポートをしていただきました。

（6回）（目標8回）

実施日	対象者	参加者数	内 容
8月2日	東伯文化センター 小学1～5年生	12人	・聴覚障がい者の体験 ・手話の体験
10月23日	琴の浦高等特別 支援学校3年生	7人	・福祉学習サポーターの講話 ・グループ学習の進行・助言
11月21日	赤碕文化センター 小学3～6年生	12名	・高齢者疑似体験
11月26日	聖郷小学校 PTA	47人	・高齢者疑似体験コーナー
2月5日	浦安小学校3年生	34名	・車いす・アイマスク体験 ・福祉学習サポーターの講話
2月7日	聖郷小学校4年生	21名	・高齢者疑似体験 ・福祉学習サポーターの講話

福祉体験学習出前講座実施（推移）

年度	R元	R2	R3	R4	R5
講座実績数	5	7	5	7	8

2 安心して利用できる福祉サービスの提供の取組について

相談者の抱える悩みや課題に対して、日常生活が継続できるよう必要に応じて関係機関に結びました。また、家族等の支援を得ることが困難な軽度の認知症や障がいによって、日常生活に不安を抱えている方に対し、日常生活自立支援事業や成年後見事業を実施し関係機関と連携しながら利用者の権利擁護支援に取り組みました。

生活福祉資金（新型コロナ特例貸付）の償還について、借受人へのフォローアップ支援を行いました。

（1）ことうらあんしん相談支援センターの実施

生活課題を抱えて不安な方の相談を受け、必要に応じて関係機関に繋ぎ行政と連携して相談者への包括的な支援に取り組みました。

年間相談件数 309件 相談者61名

（2）えんくるり事業

- ・生計困難者に対し生活困窮者自立支援相談事業等と連携し、相談業務と現物給付により生活再建への支援を行いました。

経済的援助世帯 5世帯（援助回数12回） （R5年度 3世帯）

（3）フードサポート事業

生活が困窮されている方へ食材や食品を提供し、生活再建の一助とし支援しました。

寄付登録数 企業・商店 13社、個人 7人

利用申請件数 12件 （R5年度 6件）

(4) 生活用品支援事業

町内社会福祉法人による公益的な取り組みとして、一時的な困窮により生活再建の一助として生活用品を提供し支援しました。

- ・ 寄付者数 5 名
- ・ 支援人数 7 名

(5) 学用品リユース事業

子どもの就学、子育て世帯への支援及び資源の有効活用のため、町民から学用品の受け入れを行い、譲渡会を開催しました。

譲渡数 12 個 寄付受入数 78 個

(6) 子ども服リユース事業

不要となった子ども服を町民等から受け、必要とする町民に提供しました。

- ・ 定例譲渡会 (4/18、5/8、6/20、7/8、8/29、9/5、10/31、11/21、1/7、2/20、3/24)
来場者 46 名
- ・ 学用品・子ども服譲渡会 (7/20) 来場者 52 名
- ・ つながる 2024 夏 (8/17、8/18) 来場者 88 名
- ・ 浦安地区公民館まつり (9/8) 来場者 23 名
- ・ つながる 2025 冬 (2/22、2/23) 来場者 55 名
- ・ 琴浦町民文化祭 (11/2、11/3) 来場者 129 名

(7) 成年後見援助事業

認知症、障がいのある方に成年後見制度に基づき、生活上の法律行為と身上保護、財産管理を行いました。

- ・ 被保佐人 1 名

(8) 日常生活自立支援事業（県社協委託）

日常生活に不安をかかえている高齢者や障がいのある方を対象に、預貯金の出し入れ、福祉サービスの利用援助、書類の預かり等を行いました。

- ・ 利用人数 8 名→6 名 (解約 1 件、終了 1 件) 延べ支援回数 87 回
- ・ 生活支援員 8 名
- ・ 契約締結内部審査会 12 回実施

(9) 生活福祉資金貸付事業の実施（鳥取県社会福祉協議会事務委託）

①貸付件数

- ・ 緊急小口資金 1 件（新規貸付）
- ・ 福祉資金（福祉費） 1 件（新規貸付）

②生活福祉資金（新型コロナ特例貸付）償還フォローアップ支援について

郵送による相談窓口の周知と、電話や面談による生活状況等の聞きとり、償還に関すること、生活上での困りごとの相談を受け、手続きの支援やサービスの紹介などの助言も行った。面談時にはトイレットペーパー、町指定ゴミ袋、食料品などを配布し、生活支援も併せて行いました。

また、借受人世帯の支援会議に参加し、関係機関と連携しながら課題解決に向けて支援を行いました。

- ・支援対象者：79名（借受人81名のうち2名は死亡）
- ・相談対応件数387件
- ・支援会議：2回

3 適正な法人運営及び介護・障がい福祉サービス事業の健全経営とサービス向上に取り組みました。

（1）法人運営等

地域福祉事業を円滑に推進及び実施するため、会員を募集し会費の取りまとめを行いました。

また、理事会、評議員会等を開催し健全な事業運営に取り組みました。

（2）会員制度

	会員数	R5年度	金額	R5年度
一般会員	4,583世帯(86.5%)	4,740世帯	3,909,390円	3,955,300円
特別賛助会員	336名(個人・法人)	346名	771,000円	789,000円

（3）理事会の開催（4回）

回数	開催日	人数	議 事
1	令和6年6月6日	理事10名 監事2名 欠席理事2名	(1) 令和5年度事業報告について (2) 令和5年度決算について (3) 令和6年度補正予算（第1号）について (4) 評議員選任候補者の推薦について (5) 令和6年度第1回評議員会の開催について
2	令和6年10月11日	理事10名 監事2名 欠席理事2名	(1) 令和6年度琴浦町社会福祉協議会会長表彰について
3	令和7年1月10日	理事11名 監事2名 欠席理事1名	(1) 通所介護事業所の保険外利用契約について (2) 生活介護事業運営規程の一部改正について (3) 就労継続支援事業（B型）運営規程の一部改正について

4	令和7年 2月21日	理事10名 監事2名 欠席理事2名	(1) 令和6年度補正予算（第2号）について (2) 育児・介護休業に関する規則の一部改正について (3) 表彰規程の一部改正について (4) 介護予防・日常生活支援総合事業 第1号通所事業（介護予防通所介護相当）運営規程の一部改正について (5) 役員等賠償責任保険契約締結について (6) 令和7年度事業計画について (7) 令和7年度収支予算について (8) 令和6年度第2回評議員会の開催について
---	---------------	-------------------------	---

(4) 評議員会の開催（2回）

回数	開催日	人数	議 事
1	令和6年6月21日	評議員13名 会長、副会長 監事2名	(1) 令和5年度事業報告について (2) 令和5年度決算について (3) 令和6年度補正予算（第1号）について
2	令和7年3月3日	評議員11名 会長、副会長 欠席評議員2名	(1) 令和6年度補正予算（第2号）について (2) 令和7年度事業計画について (3) 令和7年度収支予算について

(5) 監 査（2回）

回数	開催日	人数	内 容
1	令和6年5月17日	監事2名	令和5年度決算監査
2	令和6年11月20日	監事2名	令和6年度定期監査

(6) 苦情処理第三者委員会 (1回)

回数	開催日	人 数	内 容
1	令和7年 3月12日	委員4名 欠席委員1名 事務局長他 管理職員2名	1 本会に寄せられた苦情・事故等の検討 期間：令和6年4月～令和7年3月まで (1) 苦情について 2件 参考(R4:2件) ・福祉サービスに関する事項(従業員に関する事項) 2件 (2) 福祉サービス事故について 7件 参考(R5:6件) ・利用者の人身 転倒 7件 ・利用者の精神的苦痛 0件 ・利用者の経済的損害 0件 ・事業所の経済的損害未遂 0件 ・その他(事務間違い、個人情報漏洩 など) 0件 ① ひやり・ハット 16件 参考(R5:1件) ・送迎介助 4件 ・食事(口腔ケア) 3件 ・入浴介助 0件 ・トイレ介助 0件 ・日中活動 2件 ・移動 3件 ・その他 4件

(7) ボランティアセンター推進委員会の開催 (2回)

(8) 法人後見運営委員会の開催 (1回)

(9) 日常生活自立支援事業内部審査会の開催 (12回)

(10) 共同募金委員会運営への協力

(11) 歳末たすけあい事業

琴浦町共同募金委員会の歳末たすけあい配分金を活用し、小学校入学児童、中学校入学生徒に祝い品の贈呈を行いました。

① 小学校入学祝い品贈呈事業

入学児童 120名 祝 い 品【クレパス (16色)・連絡袋】

学 校 名	児童数 (名)	学 校 名	児童数(名)
八橋小学校	27	赤碕小学校	21
浦安小学校	28	船上小学校	25
聖郷小学校	17	倉吉養護学校	2

② 中学校入学祝い品贈呈事業

入学生徒 144名 祝 い 品【デザインセット】※町外中学校に進学する生徒は図書カード

学 校 名	生徒数 (名)	学 校 名	生徒数(名)
東伯中学校	84	赤碕中学校	50
米子養護学校	1	町外中学校	3

(12) 琴浦町民生児童委員協議会助成金交付事業

琴浦町共同募金委員会の一般募金配分金を活用し、琴浦町民生児童委員協議会
が実施する地域福祉活動に対し助成金を交付しました。(助成額 396,000 円)

(13) 福祉団体・ボランティア団体事務支援 (8 団体)

(14) ふれあい交流広場の管理運営

町民の健康増進及び交流を目的にふれあい交流広場を提供しました。

利用回数(回)	利用人数(名)
3	166

(15) 老人福祉センターの運営

町の行政相談に老人福祉センターを提供しました。

利用回数 12 回 利用人数 48 名

(16) 災害見舞金の支給

(17) 慰霊事業

祭壇の貸出 1 件 (R5 年度 0 件)

(18) 貸出事業 () は貸出件数

①イベント用器具の貸出(集落の行事、保育園の行事ほか)

綿菓子機 2 台 (12 回)	ポップコーン機 3 台 (10 回)	かき氷機 1 台 (3 回)	テント (1 回)	アンプ (32 回)
--------------------	--------------------------	-------------------	--------------	---------------

②レクリエーション用具の貸出(いきいきサロン、サークル、公民館行事、保育園の
行事ほか)

グラウンドゴルフ (室外・室内) (8 回・1 回)	室内ペタンク (2 回)	輪投げ (9 回)	スカット ボール (11 回)	Nintendo Switch (2 回)
モルック (12 回)	バグギー (4 回)	ポケネット (2 回)	ボッチャ (19 回)	太鼓の達人 (5 回)

③福祉用具の貸出

車椅子の貸出 21 件 (R5 年度 21 件)

(19) 介護ボランティア事業 (町委託事業)

40 歳以上の方を対象に介護ボランティアに登録していただき、介護施設等でボラン
ティア活動の派遣調整を行ないました。コロナ禍のため、受け入れを中止されている
施設もありましたが、継続的なボランティア活動を通してボランティア自身の介護予
防につなげました。

登録者数 26 名 (令和 5 年度 28 名)

活動延人数 268 名 (令和 5 年度 262 名)

(20) 法人連絡会の実施（町内社会福祉法人による公益的な取り組み）

- ・立石会・赤碕福祉会との法人連絡会の実施
- ・開催日：令和6年12月26日
- ・情報交換 「生活用品支援事業について」他

(21) 職員研修等による人材育成

- ・全職員対象 年8回実施
- ・サービス事業所 法令研修の実施

(22) 老人福祉センターの改修等についての検討業務

町内業者に老人福祉センター改修工事实施設計業務を委託し検討しました。長中期保全計画において、建物は3年以内に修繕工事が必要であり、なかでも2階バルコニー手摺部分はコンクリートが爆裂しており早急な修理が必要なため令和7年度に工事を予定しています。また、老人福祉センターのあり方検討会（仮称）を設置し、長期的な施設管理及び事業運営について検討していきます。

4 介護保険事業について

【評価と課題】

通所介護事業はコロナ感染拡大等起こすことなく事業実施しました。

利用状況は利用定員が月～金30名/日、土15名/日に対し稼働率は37.9%でした。登録者数の内、年間で施設入所3名、逝去2名、入院等2名の合計7名、また、新規利用者が7名で登録者数の大きな増減はありませんでした。

日中活動では、外出や行事で積極的に地域のイベントに参加し交流を行いました。

課題は、要介護の利用者は将来を考えて入所施設のある事業所を選ばれることが多いので、当事業所は要支援の利用者に向けリハビリ等、ニーズに合ったプログラムの提供や、利用満足度の向上につながる取り組みが必要となります。また介護保険外サービスの利用を提案する等、他事業所との差別化を行いながら、事業所の特色をPRをしていく必要があると考えます。

1 介護保険事業

（ ）は令和5年度利用実績

事業名	事業内容	項目	利用実績
通所介護事業	利用者の自立支援と、在宅における介護者の負担軽減などを目的とし、日中活動の提供と入浴・排泄時の支援、食事の提供	利用者数	22名（22名） 介護 20名（17） 支援 9名（7）

	と食事介助、生活指導などのサービス提供を行い、利用者が楽しみを持って過ごせるよう支援しました。 心身機能維持のための生活リハビリやレクリエーション等を通して、脳を活性化し認知症の進行予防を図りました。また、理学療法士によるリハビリ指導で、利用者の身体機能の維持向上の強化を図りました。 令和7年2月より、要支援及び事業対象者の利用ニーズの充足のため介護保険外サービスの提供を開始しました。 開所日数：308日	延利用者数	3,191名(3,658) 介護 2,668名(3,397) 支援 523名(261)
--	--	-------	--

5 障がい自立支援事業について

【評価と課題】

生活介護事業は、年齢や障がい特性が異なる利用者のニーズに沿った支援の提供を行いました。また、SNSを通して家族に活動内容を発信しました。重度障害児支援事業補助金や強度行動障害加算、要医療障がい児者在宅支援事業の助成を受け、重度障がい者への対応に努めました。7年度は業務のシステム化と社会交流や個別対応を行うことで、質の高いサービスの提供と新規利用に繋がります。

就労継続支援B型事業の軽作業では、町内企業との契約更新を行い、作業の継続に努めました。清掃作業では、ふるさと納税返礼品のお墓掃除の依頼が増えました。農園作業では、昨年不作だった薩摩芋が総収穫量1,5tと豊作になり、それに伴い焼き芋や干し芋の販売収益がアップし、平均工賃は23,260円となりました。

今後も幅広く多機関と連携を行いながら、利用者の工賃アップに向けて取り組みます。また、土曜日開催の余暇活動への参加が増えており、引き続き障がい者の社会性の習得や地域生活の充実を図ります。7年度は、商品や事業活動をSNSや実習等でPRし、新規利用や収益増に繋がります。

1 障がい者自立支援事業

() は令和5年度利用実績

事業名	事業内容	項目	利用実績
生活介護事業	介護が必要な障がいのある人に、日中活動の場を提供し入浴・排せつ・食事の介護や機能訓練、創作活動、生産活動を通じた自立支援に努め、かつ、年間行事を通じ	1 利用者数	18名 (20名)
		2 延利用者数	3,156名 (3,291名)

	て社会参加を行ないました。 【目標：利用者 20名/日】 開所日数：240日		
就労継続支援 B型事業	福祉的就労の場を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のための支援に努め、かつ、年間行事を通じて社会参加を行ないました。 【目標：利用者 20名/日】 開所日数：263日	1 利用者数 2 延利用者数	21名 (21名) 4,071名 (4,100名)
相談支援事業	障がいのある人やご家族等との相談や本人のサービス等利用計画の作成、モニタリングを実施し、関係機関との連携を図り在宅生活の支援を行ないました。	1 契約者数	(者)98件 (96件) (児)27件 (27件)

2 地域生活支援事業

() は令和5年度利用実績

日中一時支援 事業	障がいのある人等に日中活動の場を提供し、家族の就労支援及び日常的に介護をしている家族の一時的な休息を図るための支援を行ないました。 【定員：10名/日】 開所日数：284日	1 利用者数 2 延利用者数	21名 (23名) 1,647名 (1,898名)
--------------	--	-----------------------	--